

新年度がスタート。ご利用者の皆さまの笑顔と元気いっぱいのまちだ園をめざして



写真（上）：秋にはお米の収穫をめざしてみなさんと田植えを行った。



写真（上）：かわいらしい花々が植えられたプランターが正面玄関に並ぶ。



写真（上）：こもれびのけやき通り。スタッフで協力し作業を行った。



写真（上）：理事会にて、令和3年度決算報告が行われた。



写真（上）：居室洗面台の様子。より清潔で一層使いやすい洗面台となった。



写真（上）：ご利用者様が快適にお過ごし頂ける電動ベッド。

園庭の雪が消え、花々が咲きだすまちだ園。当園ではこの春、皆様に心地よくお過ごし頂ける環境作りに努めました。

特養では、4月に居室の自動水栓化工事が行われ、5月には、電動ベッドの入替えが始まりました。また、園庭では春の環境整備活動が行われ、花壇や花々のプランターが整備され、窓からの風景や散歩など、皆様に楽しんで頂けるようになりました。

そして6月には、感染防止対策を徹底し、理事会を無事開催することができました。頂いたご意見をもとに適切な事業運営に努めていきます。

編集・発行

社会福祉法人 長岡福寿会
〒940-1111 新潟県長岡市町田町540番地
TEL 0258-39-3927・FAX 0258-39-3946

まちだ園 長岡 🔍 検索



#まちだ園



感染症に関するご報告

5月23日、園内で実施したPCR検査により、ご利用者1名の新型コロナウイルス感染が確認されました。長岡保健所へ報告し、5月23日から6月6日までを園内の重点的な感染防止期間と定め、ショートステイを休業する等、感染拡大防止に努めました。期間中、延べ5名（利用者2名、職員3名）の陽性が確認されましたが、園内では5月25日以降、新たな陽性者は確認されておらず、6月6日をもって園内における一連の感染は収束したものと判断しました。

感染防止期間中、皆様へご迷惑ご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げるとともに、当園の対応へのご理解ご協力を心より感謝申し上げます。

安心してサービスをご利用いただけるように、早期発見に力を注ぎ、感染防止に努めてまいります。

令和4年6月7日
園長 高橋 直樹

編集後記

桜やチューリップなどの花々に元気ももらいながら、まちだ園の新年度がスタートしました。おかげさまで、広報まちだ119号を無事に発行することができました。カメラを構えますと、ご利用者の皆様、そしてスタッフの笑顔に会えました。人の生きる強さ、きずなの大切さ、そういったことをカメラ越しに感じながら制作にあたらせていただきました。広報まちだをお手に取ってお読みいただいた皆様、本当にありがとうございました。

contents

- 理事長ご挨拶
- Workon取り組み
デイサービスにおける歯科衛生士の活動
- 特養ショートステイまちだ園
お花見喫茶、誕生会、スタッフの声 ほか
- デイサービスセンターまちだ園/みやうち
お花見散歩、モザイクアート、運動会 ほか
- 長寿健康教室だんだん
ノルディックウォーキング in 越路 ほか
- 地域包括支援センターみやうち・やまこし
地域の様々な機関との関係づくり
- まちだ園からのお知らせ

特別養護老人ホームまちだ園・ショートステイまちだ園

新年度のご挨拶

社会福祉法人長岡福寿会
理事長 荒川 太郎



新年度を迎えました。新型コロナウイルス感染症の拡大から3年目に入りますが、いまだ終息が見通せず、職員一同が感染対策に日々努めています。皆様には大変長い期間、直接面会することを制限させていただきご心配ご不便をおかけしていますが、引き続きご理解とご協力をよろしく願います。そして今、ロシアのウクライナ侵襲が長期化し、世界中がその行方を注視しています。

なぜこのような悲劇を繰り返してしまうのか。人間社会の危うさを目のあたりにして茫然とするばかりです。決してこのようなことが起きてはならないことと世界中が強い意志で、これからの未来に繋げていかなければなりません。一日も早く平和な日々が戻る様お祈りいたします。

今年も長岡花火の通常開催が決まり、少しずつ感染対策を固りながら社会活動を戻そうという動きが立ち上がり始めています。悲しい報道が続く毎日ではありますが、度重なる災害等でもいつか気づかされてきた人間の絆の素晴らしさを信じて、我々も歩んでいきたいと思います。まちだ園もお陰様で30年の節目を経過しました。地域の皆様からの期待と信頼に応えられる様、さらなるサービスの改善に精進していく所存でありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ご利用者様の生活を活性化するための取り組みを充実

「コロナ禍ですが、ご利用者様には、季節を感じながら生活して頂きたい。そのためにスタッフでアイデアを出し合い、皆さまの生活を活性化できる取り組みを充実したい」と話すのは、山口一之主任介護職員。

ひな祭りやお花見喫茶などの季節行事のほか、誕生会や創作活動など、ご利用者お一人おひとりの好みを取り入れたケアに努めている。

「5月に入り、少しずつコロナ感染対策が緩和される方向にあります。皆様は重症化リスクが高く、外出や面会、行事や訪問活動など、私たちよりも何倍も不自由さを感じる場面が多いと思います。ご利用者様の気持ちに寄り添い、楽しさを感じて頂けるようにがんばりたい」と話した。

「少し照れくさくさげで、嬉しい誕生会に参加された、あるご利用者様の言葉。皆さまやスタッフからお祝いの言葉がかけられる。コロナ禍であっても、まちだ園のケアはあたたかい。」



写真(上・左):「ハッピーバースデー」みなさんからお祝いの言葉。スタッフ手作りの誕生会。



写真(上):おとなりのやすらぎ園の桜の前で。「ほんとに、きれいだね〜」見事な桜に感激された。



写真(上、中、下):サンルームひだまりにてお花見喫茶を楽しむ。パルコニーに出られ、外の桜を楽しむこともできる。



編み物



ハーモニカ演奏



自然を楽しむ



季節の行事を楽しむ

写真(上):まちだ園で「趣味」を楽しまれるみなさん。目で、耳で、手に触れて…。ゆったりと時が流れていく。



サクラがとってもきれいですね！満開の桜に囲まれてパチリ。いつまでも元気でいて下さいね！

Work on 取り組み デイサービスにおける歯科衛生士の活動



「よくなりましたね！」歯科衛生士が言葉をかける。自分自身のことをよく知ってくれている…何よりの安心感がある

お口の中の健康だけでなく、全身の健康を保つために必要な口腔ケア。月に7回、歯科衛生士としてデイまちだ園を訪問する、土田新子さん。お口の内の問題点や相談など専門的にサポートする、頼りになる存在。土田さんは、「高齢になるとお口のトラブルを抱えている人がほとんどといってもおかしくありません。口腔ケアは早く始めて頂くことが大切です」と、口腔ケアの大切さを伝える。土田さんは、まずご利用者に明るく声をかけていく。何気ない日常会話から、その方の体調や口腔機能の状態をアセスメントしていく。気になる様子がある方には、自ら



「アドバイスする」
「デイまちだ園での口腔ケアは、安全に食事を摂れるように、昼食前に口腔の体操を実施。屋食後は口腔清掃を職員が見守る中、全員が行っています。基本、できることはご利用者様が行いますので、手を貸すことは必要最低限です。看護師、介護職員がうまくリードするため、いつも全員が実施しています。いつも後回しにされていた感のある口腔ケアが、デイまちだ園ではご飯を食べることと同じように毎日実施されています。コスト面や時間を考えると、口腔ケアを実施できないところが多い中、あつぱれです」旨、語った。デイまちだ園とデイみやうちでは、歯科衛生士と看護師、介護職員と連携し、口腔機能向上加算を取得できる体制が整っている。

高齢者や病気の方にとって口腔ケアは単に歯磨きではなく命を守るケア。コロナ禍でも、ご利用者様を支えるケアがここにある。

「アドバイスする」
「デイまちだ園での口腔ケアは、安全に食事を摂れるように、昼食前に口腔の体操を実施。屋食後は口腔清掃を職員が見守る中、全員が行っています。基本、できることはご利用者様が行いますので、手を貸すことは必要最低限です。看護師、介護職員がうまくリードするため、いつも全員が実施しています。いつも後回しにされていた感のある口腔ケアが、デイまちだ園ではご飯を食べることと同じように毎日実施されています。コスト面や時間を考えると、口腔ケアを実施できないところが多い中、あつぱれです」旨、語った。デイまちだ園とデイみやうちでは、歯科衛生士と看護師、介護職員と連携し、口腔機能向上加算を取得できる体制が整っている。

長寿健康教室 だんだん

春到来。イベントプログラムも盛況
自分らしい楽しみ方ができるサービス

写真(右)(下):
わくわくアートで
花々の寄せ植えを
行った。可愛らしい
花々。ご自宅でも
楽しむことができる。



写真(上)(左):春のノルディックウォーキング。越路河川公園に出かける。あたたかい日、心地よい汗を流す皆さま。

まちだ園の元気一番なサービス、長寿健康教室だんだん。週1回(木曜日)、まちだ園の地域交流センター多目的ルームで行われている、送迎付きの介護予防教室。多彩なメニューが自慢。貯筋プログラムや食イキプログラムなどのお馴染みの講座から、わくわくアートやノルディックウォーキングin越路などのイベントプログラムが行われることもある。担当スタッフの長谷川真衣管

理栄養士は、「だんだんの魅力は週に一度、自宅以外で楽しみながら活動できる場を持つこと。私自身もみなさんから元気を頂き、一緒に楽しんでいきます。お花が好きで、わくわくアートを楽しみにされていた方、昨年が続いて、春の越路河川公園の散策を楽しみにされていた方、みなさんそれぞれの楽しみ方をお持ちのようです」旨話した。皆様が積極的に参加し、楽しめる活動を提案する「だんだん」。これからもご期待ください。

地域包括支援センター みやうち・やまこし

地域の様々な機関と連携し、
高齢者の皆さまの生活を支えたい

地域包括支援センターは65歳以上の方の長岡市の公的相談窓口。「みやうち・やまこし」が担当する地域は、宮内・十日町・六日市・山通・太田・山古志地区である。同センターは日ごろから、地域の様々な機関との関係づくりに取り組んでいる。廣川明子主任相談員は、「各地域には、コミュニティセンターがあり、地域の中心となっており、その特性を生かした活動をされています。例えば六日市地区では、毎月、地域の茶の間」と題した高齢者向けの催しがあります。コミュニティセンター職員の方が趣向を凝らした企画を行っており、今年2年ぶりに再開するという嬉しい一報を頂戴しました」旨、話した。訪問先の、六日市コミュニティセンターに到着。「今井センター長様から、少子高齢化の中、地域コミュニティ活動を皆様の協力を得ながらいかに進めていくかが課題であること、また原主事様からは、地域の茶の間の活動など、センターとの連携が大事である」旨、お話を頂いた。「地域」には、町内会や民生



今井センター長様



原主事様



廣川主任相談員

委員の方々、商店や金融機関、医療機関、公共交通機関や交番、消防など生活に欠かせない様々な機関がある。私たちは、その一つひとつの地域の機関と連携して、地域の高齢者の皆様の生活をこれからも支えていきたい。

デイサービスセンターまちだ園・みやうち デイホームみやうち

笑顔あふれ、
期待に胸膨らむデイサービス

多彩なサービスメニューと、元気なスタッフが自慢のデイサービス。高橋弘和通所事業統括責任者は、「今年も満開の桜の下、ご利用者の皆さまの満面の笑顔があふれました。例年になく大雪でしたが、春には満開の桜が私たちの目を輝かせ、1年の活動に期待を馳せワクワクした気持ちで隠せません」と笑顔で話した。『デイサービスまちだ園では、ご利用者の皆さまが昨年から取り組んでいたモザイクアートの仕上げ作業に集中しています。』「ありがたい気持ちを忘れないでほしい」という、子どもたちへのコロナ禍ならではのメッセージが込められた作品です。今年も様々な活動を通じて、ご利用者の皆さまの心身機能の活性化や社会参加を進めていきたいと考えています」旨、意気込む。『ここはとても楽しいよ!』あるご利用者様の言葉。ワクワクする気持ち。これからも笑顔あふれるデイサービスの活動にご期待下さい。

写真(右)・春のおだやかな日。みなさんと一緒に花見に出かける「デイまちだ園」(左)、デイみやうち(右)。満開の桜に、満面の笑顔がまぶしい。



写真(左)・モザイクアート作り。色のタイルを組み合わせる。集中できることが楽しい。



写真(上、右、下):
五平餅作りの様子。
できたての味は格別。
作る、味わう楽しさがある。



写真(右)・デイみやうち大運動会。もってつけ、ガンバレ、応援に力が入る。